

令和3年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

令和3年7月13日

上場会社名 株式会社アメイズ 上場取引所 福  
 コード番号 6076 URL https://www.az-hotels.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)穴見 賢一  
 問合せ先責任者 (役職名)代表取締役副社長 (氏名)児玉 幸子 (TEL)097(524)3301  
 四半期報告書提出予定日 令和3年7月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年11月期第2四半期の業績（令和2年12月1日～令和3年5月31日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年11月期第2四半期	5,593	△2.1	312	△56.4	219	△59.7	123	△50.2
2年11月期第2四半期	5,712	△21.8	716	△60.1	544	△65.9	248	△77.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年11月期第2四半期	8.15	—
2年11月期第2四半期	16.36	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
3年11月期第2四半期	27,724	11,423	41.2
2年11月期	26,338	11,604	44.1

(参考) 自己資本 3年11月期第2四半期11,423百万円 2年11月期11,604百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年11月期	—	—	—	20.00	20.00
3年11月期	—	—	—	—	—
3年11月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和3年11月期の業績予想（令和2年12月1日～令和3年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	5.8	800	△47.5	500	△58.0	300	25.4	19.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

令和3年1月13日に公表いたしました令和3年11月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

3年11月期2Q	15,204,000株	2年11月期	15,204,000株
3年11月期2Q	378株	2年11月期	378株
3年11月期2Q	15,203,622株	2年11月期2Q	15,203,622株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、国内外における新型コロナウイルス感染症の拡大が長期化している影響により、企業収益の減少や雇用環境の悪化など経済活動が停滞しており、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、各国政府による外出制限や渡航制限などの措置が継続される中、感染拡大による緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の影響により宿泊需要は減少しており、依然厳しい状況が続くことが予想されます。

当社においては、経済活動の段階的な再開に伴うビジネス利用の増加により回復基調が見られていましたが、感染状況の悪化による3度目の緊急事態宣言の発出後は、各自治体による外出自粛要請や店舗への営業時間短縮要請などの影響から集客回復の動きが鈍く、大幅な業績改善には至りませんでした。なお、当第2四半期会計期間に158室タイプのHOTEL AZ大分幸崎店の1店舗を新規出店いたしました。

当第2四半期会計期間末における店舗数は、ホテル店舗が85店舗（直営店82店舗、FC3店舗）、館外飲食店舗が4店舗であります。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は55億93百万円（前年同四半期比2.1%減）、営業利益は3億12百万円（前年同四半期比56.4%減）、経常利益は2億19百万円（前年同四半期比59.7%減）、四半期純利益は1億23百万円（前年同四半期比50.2%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況について

当第2四半期会計期間末における資産合計は、277億24百万円となり、前事業年度末に比べ13億86百万円の増加となりました。これは主に、有形固定資産の増加16億16百万円によるものであります。

当第2四半期会計期間末における負債合計は、163億1百万円となり、前事業年度末に比べ15億67百万円の増加となりました。これは主に、新規出店に係る短期借入金の増加13億20百万円によるものであります。

当第2四半期会計期間末における純資産の合計は、114億23百万円となり、前事業年度末に比べ1億81百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金の減少1億80百万円によるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期累計期間における現金および現金同等物（以下「資金」という）は、4億54百万円（前事業年度末は4億55百万円）となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、6億86百万円（前年同四半期は2億82百万円の獲得）となりました。これは主に、減価償却費6億86百万円（前年同四半期は6億36百万円）及び税引前四半期純利益2億19百万円（前年同四半期は5億44百万円）があったこと等によるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、12億79百万円（前年同四半期は3億67百万円の使用）となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出12億88百万円（前年同四半期は3億37百万円）があったこと等によるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、5億92百万円（前年同四半期は9億38百万円の使用）となりました。これは主に、新規出店に係る短期借入金の純増額13億20百万円（前年同四半期は未計上）、配当金の支払額3億4百万円（前年同四半期は5億32百万円）及び長期借入金の返済による支出2億91百万円（前年同四半期は2億91百万円）があったこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和3年1月13日に公表いたしました令和3年11月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (令和2年11月30日)	当第2四半期会計期間 (令和3年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	455	454
売掛金	481	202
商品	4	5
原材料及び貯蔵品	59	57
その他	116	193
流動資産合計	1,116	913
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	9,894	11,777
土地	5,293	5,294
リース資産（純額）	7,099	7,909
その他（純額）	1,763	684
有形固定資産合計	24,050	25,666
無形固定資産	62	62
投資その他の資産	1,108	1,081
固定資産合計	25,221	26,811
資産合計	26,338	27,724

(単位：百万円)

	前事業年度 (令和2年11月30日)	当第2四半期会計期間 (令和3年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	120	83
短期借入金	800	2,120
1年内返済予定の長期借入金	583	583
リース債務	246	264
未払法人税等	249	104
賞与引当金	—	77
ポイント引当金	148	122
その他	1,130	920
流動負債合計	3,279	4,276
固定負債		
長期借入金	3,187	2,895
リース債務	7,942	8,800
退職給付引当金	50	57
役員退職慰労引当金	49	42
資産除去債務	198	203
その他	26	26
固定負債合計	11,454	12,024
負債合計	14,733	16,301
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,299	1,299
資本剰余金	500	500
利益剰余金	9,803	9,623
自己株式	△0	△0
株主資本合計	11,603	11,423
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1	0
評価・換算差額等合計	1	0
純資産合計	11,604	11,423
負債純資産合計	26,338	27,724

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 令和元年12月1日 至 令和2年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自 令和2年12月1日 至 令和3年5月31日)
売上高	5,712	5,593
売上原価	623	543
売上総利益	5,089	5,049
販売費及び一般管理費	4,372	4,737
営業利益	716	312
営業外収益		
受取賃貸料	48	49
助成金収入	20	124
その他	7	11
営業外収益合計	77	186
営業外費用		
支払利息	237	272
その他	12	6
営業外費用合計	249	279
経常利益	544	219
税引前四半期純利益	544	219
法人税、住民税及び事業税	166	78
法人税等調整額	129	16
法人税等合計	295	95
四半期純利益	248	123

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 令和元年12月1日 至 令和2年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自 令和2年12月1日 至 令和3年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	544	219
減価償却費	636	683
賞与引当金の増減額 (△は減少)	79	77
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	30	△26
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	0	6
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2	△7
受取利息及び受取配当金	△1	△1
支払利息	237	272
売上債権の増減額 (△は増加)	134	278
たな卸資産の増減額 (△は増加)	7	0
仕入債務の増減額 (△は減少)	△84	△36
未払金の増減額 (△は減少)	△283	△114
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△114	△123
その他	△103	△47
小計	1,085	1,180
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△236	△272
法人税等の支払額	△566	△221
営業活動によるキャッシュ・フロー	282	686
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△337	△1,288
敷金の差入による支出	△40	—
貸付金の回収による収入	9	9
その他	1	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△367	△1,279
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	1,320
長期借入金の返済による支出	△291	△291
リース債務の返済による支出	△114	△131
配当金の支払額	△532	△304
財務活動によるキャッシュ・フロー	△938	592
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,023	△0
現金及び現金同等物の期首残高	1,795	455
現金及び現金同等物の四半期末残高	771	454

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。